

「このまち大好き」

最優秀賞に小阪さんと平美さん

新宮市観光フォトコン

新宮市観光フォトコンテストの表彰式が26日、市役所であり、最優秀賞 享志さん(66)と平美結衣さん(15)らに賞状と選した作品33点は観光力



最優秀賞「孔島の暑い朝」(小阪享志さん)



最優秀賞「このまち大好き」(平美結衣さん)

レンダーやパンフレットなどとして活用する他、10月30日(金)まで、市役所1階ギャラリーに展示される。

市観光カレンダー製作実行委員会(山本大輔委員長)が主催で毎年開催しており今年で9回目。

今回はテーマを「伝えた魅力」とし、一般の部のほかに初めて中学生・高校生の部を設けた。一般の部には54人から165作品、中・高校生の部には51人から53作品の応募があった。

一般の部では小阪さんが2回目の応募にして最優秀賞を受賞。カメラを本格的に始めたのは2年ほど前からとしながらも、インスタグラムを見るなどして技術の研ぎに励んだという。作品は「孔島の暑い朝」。青い空を映す穏やかな海に浮かぶ孔島の様子を捉えた。「(最優秀賞と聞いて)びっくりの一言。うれしく

思う反面恐縮しています」。

中学生・高校生の部では、阿須賀神社本殿と境内の桜を撮影した平美さんの「このまち大好き」が最優秀賞に輝いた。賞状を受け取った平美さんは「とてもうれしい。新宮にはきれいな景色がたくさんある。これからも写真に収めていきたい」と笑顔で話した。

山本委員長は「たくさんの方々から市内の魅力あふれる作品を応募いただいた。観光カレンダーをはじめ市の観光PRの一助となるように大いに期待したい」。

審査員を務めた田岡実千年市長は「これほどブルーがきれいで水面が鏡になるような日は年間通しても珍しい」「桜と本殿の距離感やアングルが素晴らしい」などと作品を講評。「年々レベルが上がっている。来年の観光カレンダーも素晴らしいものが完成するとうれしく思っています」と話していた。入選者は6面で報道。

(西久保勢津子)